

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2 款 総務費

6 項 防災費

防災課（内線：7584）→事業実施：危機管理政策課

1 目 防災総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般 財源	
(新)地震津波対策事業	0	5,574	5,574				5,574	
トータルコスト	0	13,562	13,562	(補正に係る主な事業内容)				
従事する職員数	0.0人	1.0人	1.0人	現在の被害想定を検証と新たな避難計画の検討等				
工程表の政策目標(指標)	社会全体における地域防災力の向上（災害時における避難体制の整備）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成23年3月11日（金）に起きた「東北地方太平洋沖地震」により発生した大津波は、これまでの津波対策の想定を超え甚大な被害を生じたことを踏まえて、本県における現在の津波の高さや浸水予測の検証と新たな被害想定を検討等を行ったうえで、津波対策を見直し、その結果を県及び市町村の地域防災計画（津波対策、避難指針等）に反映する。

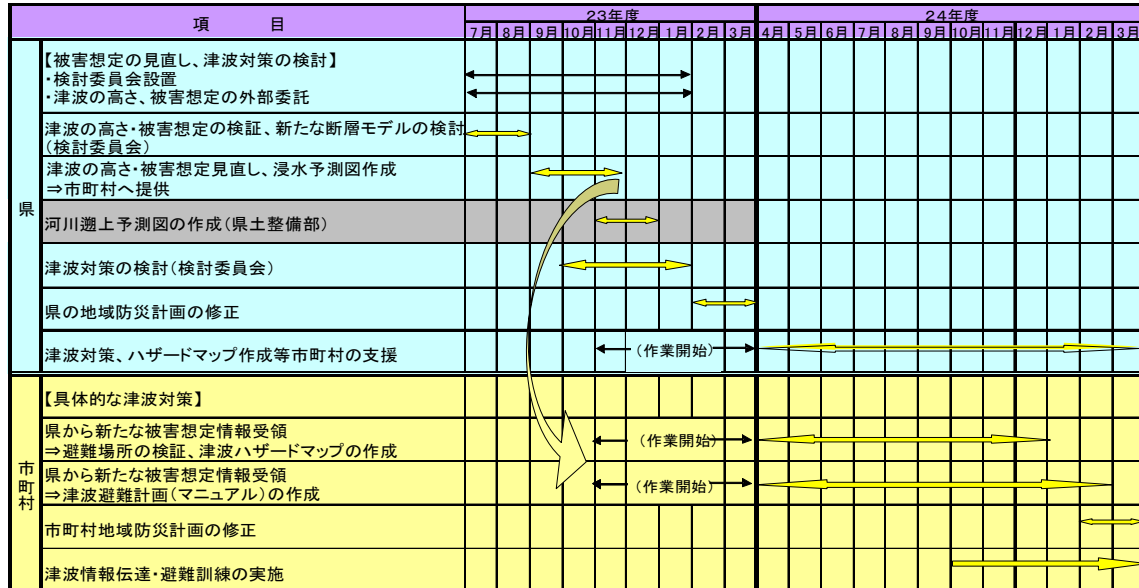
2 主な事業内容

(1) 事業概要

【地震津波対策見直し計画】

- ① 検討委員会（学識経験者等）による現在の津波被害想定を検証及び新たな被害想定を検討（報償費及び旅費 292千円）
- ② 新たな被害想定による津波浸水予測図の作成（委託 5,282千円）
※河川津波遡上予測図の作成（県土整備部実施）
- ③ 市町村に対する新たな被害想定情報の提供
- ④ 検討委員会による津波対策の検討
- ⑤ 県の地域防災計画（津波対策・避難指針等）の修正
- ⑥ 県から提供された新たな被害想定情報に基づき、市町村において具体的な津波対策（避難計画・津波ハザードマップの作成等）の作業に着手。

【津波対策見直しスケジュール】



3 これまでの取組状況

「鳥取県地震防災調査研究報告（H17.3月報告）」において、本県への影響が最も大きい震源モデルをもとに津波の被害想定を実施し、津波浸水予測図の作成、地域防災計画への反映等を行っている。

（現在の地域防災計画における被害想定概要）

- ・ 震源モデル：気象庁の量的津波予報に対応する波源モデル
- ・ 規模：マグニチュード7.4
- ・ 沿岸における最高水位：2.1 m（鳥取市気高町沿岸）
- ・ 津波到達時間：最高水位の到達まで約20分
- ・ 被害想定：死者15名、住宅半壊72棟